

科目名	テクニカルフォトⅣ		科目コード	1516	
開講学科	写真学科	単位数	4	形態	実習
教員名	平松佑介				
授業の目的及びテーマ：					
<p>写真作品制作における撮影から展示に至るまでの作業内容を、実技による技術習得と、表現の両面から学びます。また技術上の特質から環境変化による影響を大きく受ける写真作品を、長期保存するためのノウハウについて考察します。</p>					
授業概要					
<p>写真作品の最終仕上げとして高品位のプリント出力と、マッピング、額装の技術習得および、表現上の効果について実習を通して学ぶ。また写真作品とその原版であるフィルム、デジタルデータの長期保存に関わるノウハウを、テキストを軸として日々進化する技術の変化も踏まえ考察する。</p>					
授業計画：					
<p>1.第一課題の提出：指定の教科書「テクニカルフォトⅣ」を熟読し、写真作品の保存と展示の現状について述べよ。</p> <p>2.第一課題の添削：提出されたレポートに対する担当教員の添削。記述内容に対するアドバイスをもとにスクーリング受講の準備を行う。</p> <p>3.スクーリング1日目：高品位のデジタルデータを得るための各種撮影ノウハウの習得。</p> <p>4.スクーリング2日目：作品仕上げのための美術展鑑賞および、撮影実習。</p> <p>5.スクーリング3日目：撮影データのデータ処理。RAWデータの適切な現像処理を行う。</p> <p>6.スクーリング4日目：Photoshopを利用した非破壊編集の実際。</p> <p>7.スクーリング5日目：作品データのプリント出力。大判プリントのノウハウ。</p> <p>8.スクーリング6日目：ブックマットの作成。写真作品の仕上げ処理と保存について。</p> <p>9.第二課題の提出：10×12inchのブックマット4点の作成。作品の内容に見合ったマットの色選びから窓枠の大きさ、位置を考えて作品を仕上げる。</p> <p>10.第二課題の添削：提出された作品の添削を通して技術的な問題点と、作品に対する表現的な問題を再確認する。</p>					
テキスト	「テクニカルフォトⅣ」山崎 信 他共著（大阪芸術大学）	参考文献：			
評価方法：					
<p>通信授業は提出課題（2件）を以って評価する</p> <p>面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。</p>					